

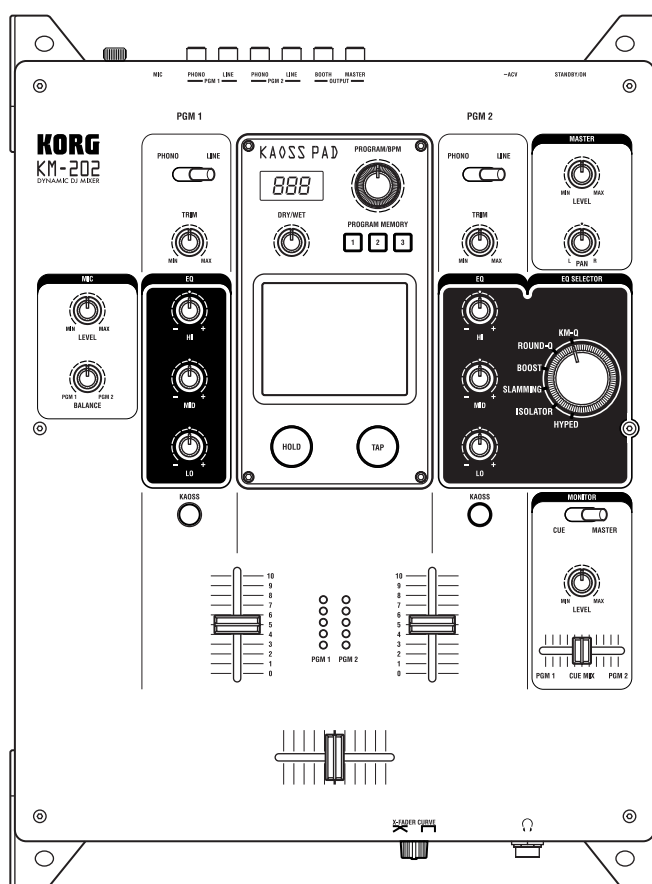
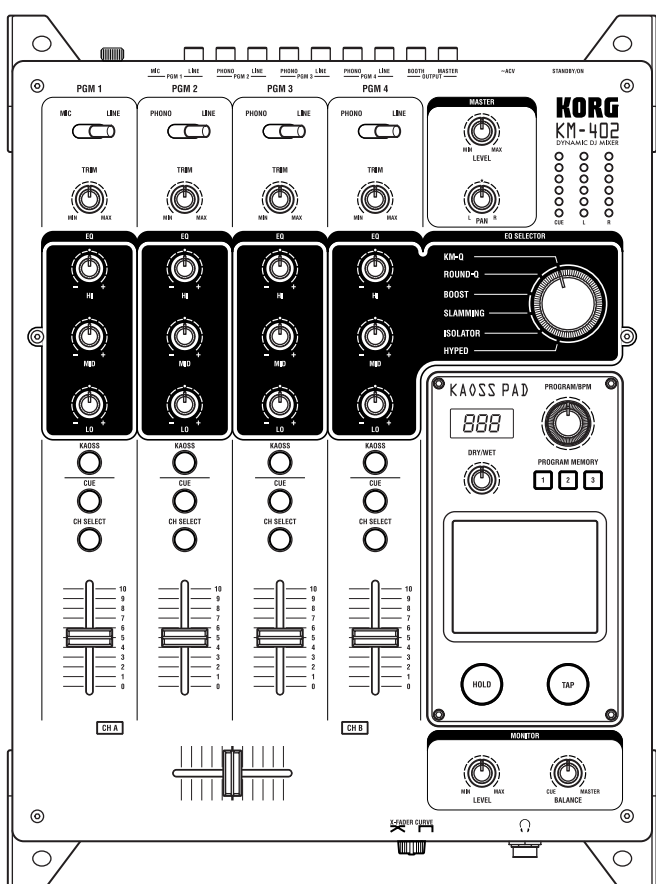
KM-402

DYNAMIC DJ MIXER

KM-202

DYNAMIC DJ MIXER

OWNER'S MANUAL MANUEL D'UTILISATION BEDIENUNGSANLEITUNG 取扱説明書



KORG

E F G J 1

安全上のご注意

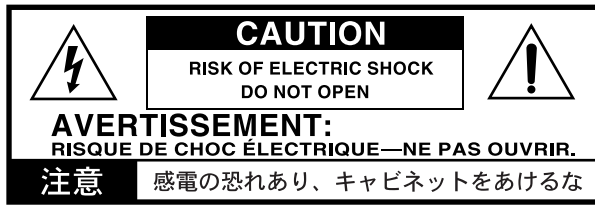
ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

| | |
|--|---|
| | △ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。 |
| | ⊘ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。 |
| | ● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。 |

以下の指示を守ってください

警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます



- ・電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ・電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。
- ・本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。



- ・次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。



- ・本製品を分解したり改造したりしない。



- ・修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- ・電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- ・大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- ・本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- ・温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- ・振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



- ・風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



- ・雨天時の野外のように、湿気が多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- ・本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・本製品に液体をこぼさない。



- ・濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性
または物理的損害が発生する可能性があります



- ・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- ・ 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



- ・ 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。



- ・ 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。
付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- ・ 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・ スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
故障の原因になります。
- ・ 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
- ・ 不安定な場所に置かない。
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- ・ 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
本製品が転倒または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

* 記載されているすべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. はじめに | 44 |
| 各部の名称 | 44 |
| 2. 準備 | 47 |
| 接続 | 47 |
| 電源を入れる | 48 |
| 電源を切る | 48 |
| 3. ミキサーを使う | 49 |
| 基本操作 | 49 |
| モニターする | 49 |
| イコライザー | 50 |
| 4. KAOSS PADを使う | 51 |
| エフェクトをかけるチャンネルを選択する | 51 |
| タッチ・パッドを操作する | 51 |
| エフェクト・プログラムを選ぶ | 51 |
| PROGRAM MEMORY ボタンを使う | 51 |
| BPMを設定する | 51 |
| 工場出荷時の状態に戻す方法 | 52 |
| 5. 付録 | 53 |
| 故障かなと思う前に | 53 |
| クロスフェーダーの調整設定 | 53 |
| 仕様 | 54 |

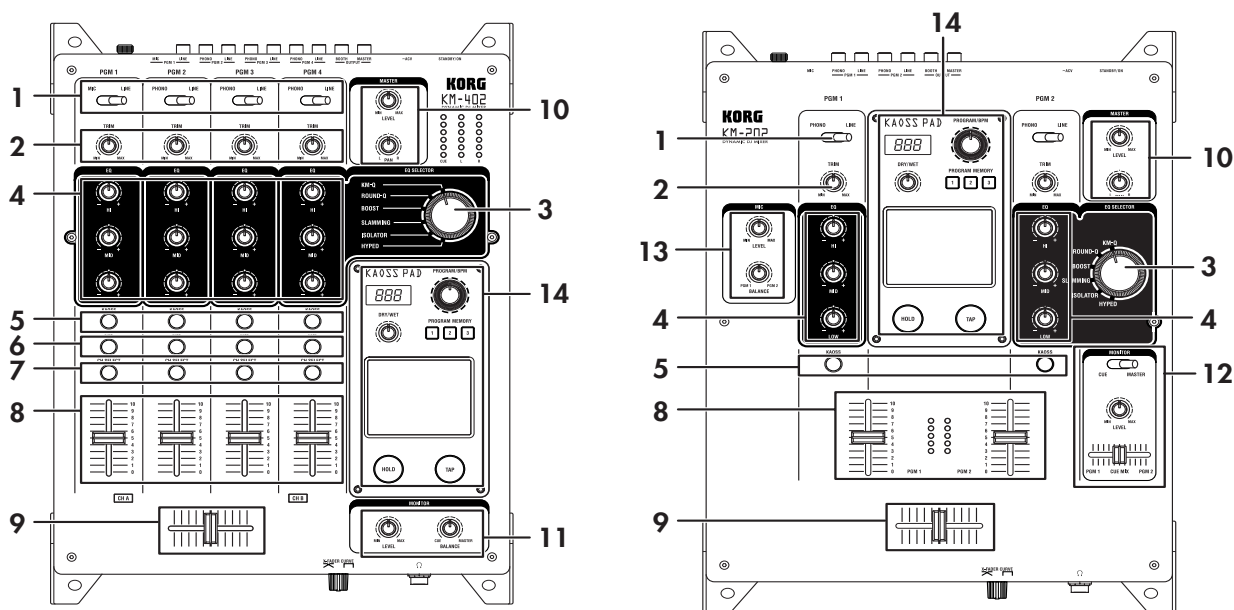
1. はじめに

このたびは、コルグDYNAMIC DJ MIXER KM-402 / KM-202をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

各部の名称

トップ・パネル



1. INPUT SELECTスイッチ

ミキサー・チャンネルにアサイン (割り当て) する入力端子を選択します。

2. TRIMノブ

INPUT SELECTスイッチで選択した入力端子からの、音声信号の入力レベルを調整します。

3. EQ SELECTORノブ

EQのタイプを設定します。タイプを切り替えることにより、HI、MID、LOの各帯域のEQノブを調整したときの音質効果を変更することができます。

4. EQノブ

HI、MID、LOの各ノブにより、各帯域の音質を調整します。

5. KAOSSボタン

本機搭載のKAOSS PADを使用するミキサー・チャンネルを選択します。点灯しているミキサー・チャンネルの音声にエフェクトがかかります。再度押しと、消灯しオフになります。

6. (402のみ) CUEボタン

ミキサー・チャンネルのプリ・フェーダー音がCUEバスに送られます。CUEバスの音は、MONITOR BALANCEノブをCUE側に設定することで、ヘッドホンからモニターすることができます。

7. (402のみ) CH SELECTボタン

クロスフェーダーのAチャンネル (緑) またはBチャンネル (赤) に割り当てます。ボタンを押すごとに、緑→赤→消灯と切り替わります。Aチャンネル、Bチャンネルのどちらにも割り当てていない (LED消灯時) ときは、ミキサー・チャンネルの音はクロスフェーダーを通りません。

8. チャンネル・フェーダー

ミキサー・チャンネルにアサインした各入力音のレベルを調節します。チャンネル間の音量バランスを調整します。

9. クロスフェーダー

クロスフェーダーを使用することで2つのチャンネルの音声を切り替えたり、クロスフェードさせて、DJプレイが行えます。

(402の場合) CH SELECTボタンでAチャンネル、Bチャンネルに割り当てた音声をクロスフェードします。
(202の場合) PGM1とPGM2をクロスフェードします。

10. MASTER LEVELノブ、MASTER PANノブ

MASTER OUT 端子からの出力レベルを調節します。MASTER PANノブで音声のL/Rバランスを調整します。

11. (402のみ) MONITOR BALANCEノブ、MONITOR LEVELノブ

MONITOR BALANCEノブ: CUE側に回すと、各チャンネルからCUEバスに送られた音が、MASTER側に回すと、MASTER OUT端子から出力している音と同じ音が、ヘッドホンでモニターすることができます。

MONITOR LEVELノブ: ヘッドホン端子から出力する音量の調節をします。

12. (202のみ) CUE/MASTERセレクト・スイッチ、CUE MIXフェーダー、MONITOR LEVELノブ

CUE/MASTERセレクト・スイッチ: CUE側に倒すと、CUEバスの音が、MASTER側に倒すと、MASTER OUT端子から出力している音と同じ音が、ヘッドホンでモニターすることができます。

CUE MIXフェーダー: PGM1とPGM2のCUEバスの音声バランスを調節をします。

MONITOR LEVELノブ: ヘッドホン端子から出力する音量の調節をします。

13. (202のみ) MIC LEVELノブ、MIC BALANCEノブ

MIC LEVELノブ: MIC端子からの入力レベルを調節します。

MIC BALANCEノブ: MIC端子からの入力音を、PGM1、PGM2に送るバランスを調節します。

14. KAOSS PADセクション

15. ディスプレイ

KAOSS PADのエフェクト・プログラムのナンバーや、BPMを表示します。

16. DRY/WETノブ

エフェクトのかかり具合を設定します。

17. PROGRAM/BPMノブ

KAOSS PADのエフェクト・プログラムの選択や、BPMを設定します。

18. PROGRAM MEMORY ボタン

1~3の各ボタンにエフェクト・プログラムのナンバーを記憶することができます。ボタンを押すとそれぞれに記憶しておいたプログラムを瞬時に呼び出すことができます。

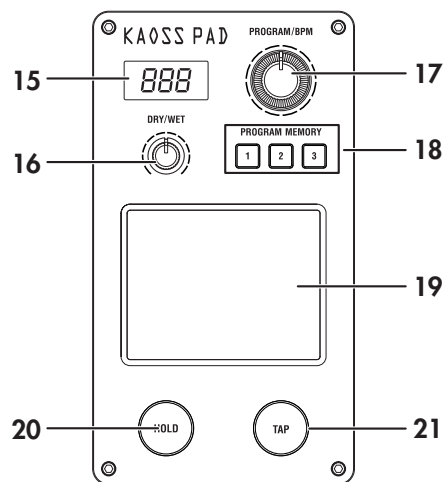
19. タッチ・パッド

20. PAD HOLD ボタン

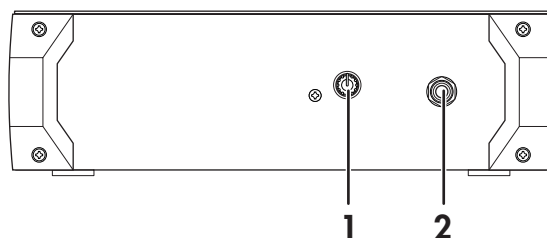
タッチ・パッドを使用するエフェクト操作時にホールドのオン/オフを設定します。

22. TAPボタン

このボタンを押したタイミングでBPM値を設定します。

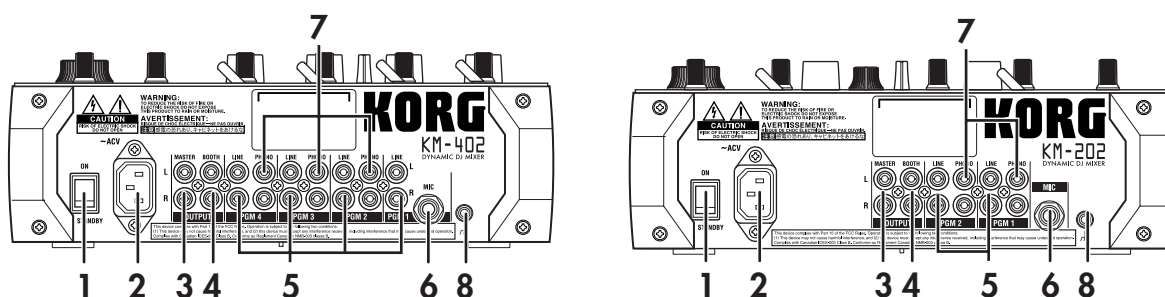


フロント・パネル



1. X-FADER CURVEノブ
クロスフェーダーのカーブを設定します。
2. ヘッドホン端子

リア・パネル



1. 電源スイッチ
電源をオン、オフします。
2. 電源端子
付属の電源コードを接続します。
3. MASTER OUT 端子
マスター・バスの音声を出力します。RCAタイプ出力端子です。
4. BOOTH OUT 端子
MASTER OUTと同じ音声を出力します。ただし、MASTER LEVELノブで音量を調整することはできません。RCAタイプ出力端子です。
5. INPUT (LINE) 端子
ラインレベルの機器を接続します。RCAタイプ入力端子です。
6. MIC 端子
マイクを接続します。標準フォーン端子です。
7. INPUT (PHONO) 端子
ターンテーブルを接続します。RCAタイプ入力端子です。
8. GND 端子
ターンテーブル接続用のグラウンド端子です。PHONO端子を使用するときは、必ずGND端子にターンテーブルのグラウンド線を接続してください。

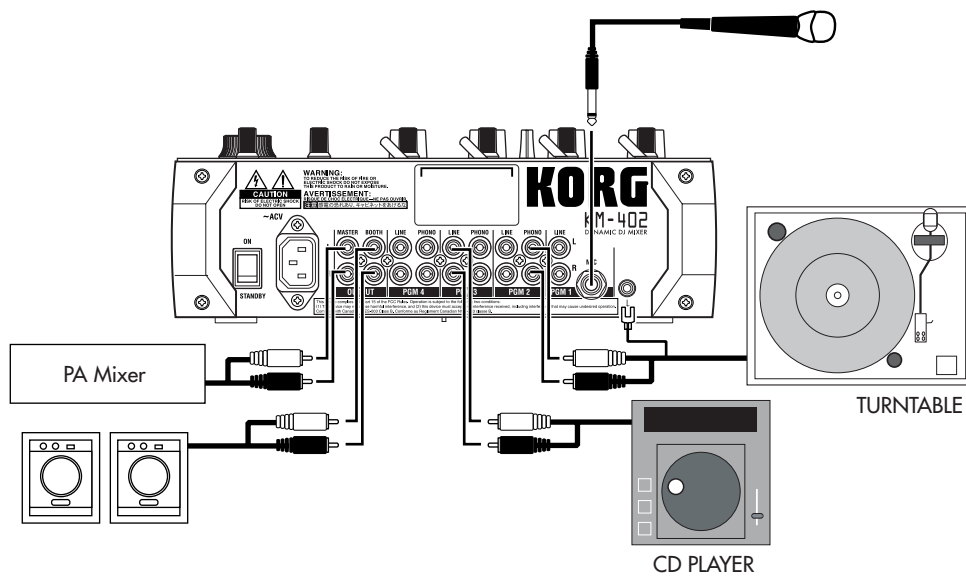
2. 準備

機器の接続を行うときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

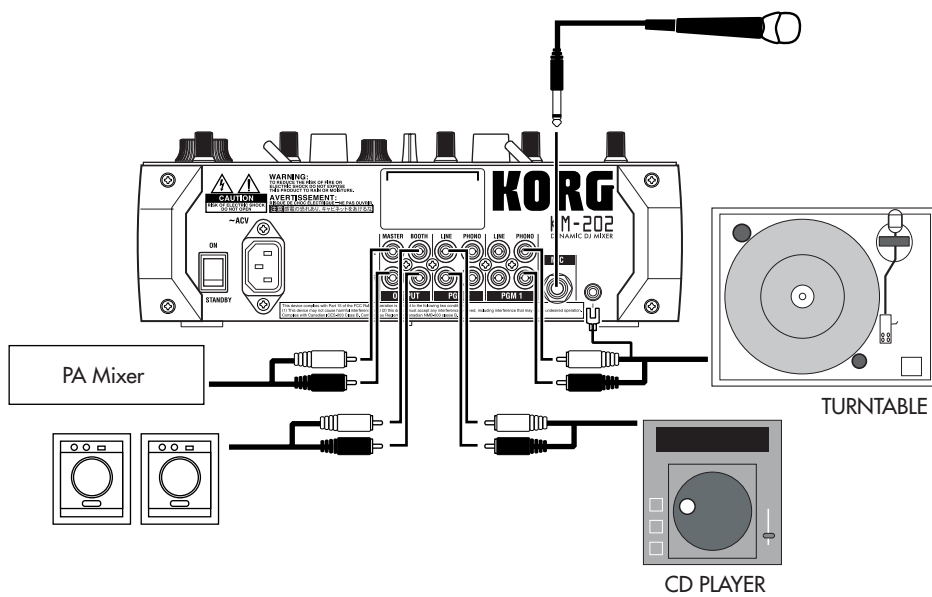
接続

接続する機材によって接続する端子を選んでください。

KM-402



KM-202



電源を入れる

本機の電源を入れるときは、以下の手順で行ってください。

1. 電源コードを接続します。
付属の電源コードを電源端子に接続します。
2. 入力端子に接続した外部機器の電源を入れます。
3. 本機のすべてのチャンネル・フェーダーとMASTER VOLUMEノブを絞ります。
4. 本機のリア・パネルにある電源スイッチをオンにします。
モニターアンプなどMASTER OUT端子に接続した機器の電源を入れてください。

電源コードの接続について

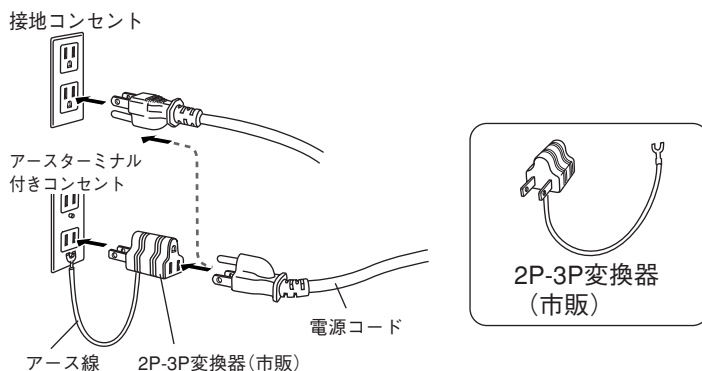
1. 本機の電源スイッチがオフになっていることを確認します。
2. 付属の電源コードを本機リア・パネルのAC電源端子に接続します。
- ⚠ 電源コードは必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用した場合、故障などの原因となります。
3. 付属の電源コードには、アース端子がついています。感電と機器の損傷を防ぐためにアース接続を確実に行って、コンセントに接続してください。
- ⚠ 電源は必ずAC100Vを使用してください。

接地コンセントに接続する場合

電源コードのプラグをコンセントに直接差し込んでください。

アースターミナル付きコンセントに接続する場合

- a. 電源コードのプラグに2P-3P変換器（市販）を取り付けます。
- b. 2P-3P変換器のアース線をコンセントのアースターミナルに接続します。
- c. 2P-3P変換器をコンセントに差し込みます。



- ⚠ アースターミナル付きコンセントでは、必ずアース端子を先に接続してからコンセントにプラグを差し込んでください。コンセントから外す場合は、必ずプラグを先に抜いてからアースを外してください。接続方法が分からないときは、コルグお客様相談窓口にご相談ください。

電源を切る

1. 本機のすべてのチャンネル・フェーダーとMASTER VOLUMEノブを絞ります。
2. モニターアンプやMASTER OUT端子に接続したアンプ等の電源を先に切ります。
3. 本機のリア・パネルにある電源スイッチをオフにします。

3. ミキサーを使う

基本操作

入力を選択する

ミキサー・チャンネルごとにトップ・パネルのINPUT SELECTスイッチで入力端子を選びます。

入力レベルを調整する

TRIMノブで各ミキサー・チャンネルの入力レベルを調整します。

チャンネル・フェーダーを最大にして最大のレベルを入力したときに、レベル・インジケーターが黄色に点灯するように調整します。

202の場合

MIC端子に接続したマイクの入力レベルは、MIC LEVELノブで調整します。MIC BALANCEノブでPGM1とPGM2の各ミキサー・チャンネルに送るレベル・バランスを調節します。

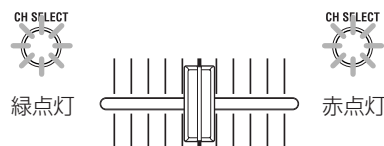
音をミキシングする

各ミキサー・チャンネルの音量レベルを、それぞれのチャンネル・フェーダーで調整します。

クロスフェーダーを使う

クロスフェーダーでミックスした音声はマスター・バスまたはFXバスに出します。

クロスフェーダーのカーブ(効き具合)は、フロント・パネルのX-FADER CURVEノブで調整します。



402の場合

各ミキサー・チャンネルのCH SELECT ボタンでクロスフェーダーのチャンネルを設定します。

CH SELECT ボタンを押すごとに、Aチャンネル(緑点灯)→Bチャンネル(赤点灯)→選択無し(消灯)と切り替わります。

202の場合

PGM1、PGM2のミキサー・チャンネルの音声が、クロスフェーダーによりクロスフェードします。

マスターレベルを調節する

MASTER OUT 端子から出力される全体の音量レベルをMASTER LEVELノブで調整します。

モニターする

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続し、ミキシングした音や入力音をモニターします。

CUE(キュー)

演奏中に自分の演奏音を確認するために、MASTER OUT端子に出力する音声とは別に、チャンネル・フェーダーの前の音声をモニターする機能です。CUEバスの音は、ヘッドホンからモニターすることができます。これによりフェーダーを下げた状態で、入力音やEQのかかり具合をヘッドホンでチェックしておき、チャンネル・フェーダーを上げることで狙った音をマスターから出力することができます。

CUEによるモニタリング

402の場合

1. モニターするミキサー・チャンネルのCUE ボタンをオンにします。
2. MONITOR BALANCE ノブでマスター出力音とCUEバス音の音量バランスを調整します。全体の音量は、MONITOR LEVELノブで調節します。

202の場合

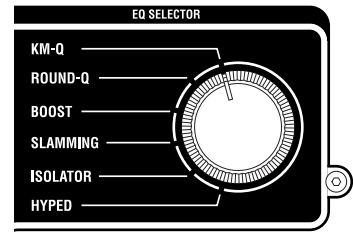
1. CUE/MONITORセレクト・スイッチでCUEを選択します。
2. CUE MIXフェーダーでPGM1とPGM2の音量バランスを調整します。全体の音量は、MONITOR LEVELノブで調節します。

イコライザー

イコライザーで音を調整する

イコライザー (EQ) は、ヒスノイズなどの耳障りな周波数帯域をカットしたり、効果的な音質変化を加えるために、低域や高域をカットまたはブーストします。

1. EQ SELECTノブでイコライザーのタイプを選びます。
2. EQタイプで設定したEQをコントロールします。
各チャンネルごとにHI/MID/LOの各ノブで好みの音質変化を与えます。



EQタイプ・リスト

KM-Q

初代KAOSS MIXERを愛用する様々な著名なアーティストの意見を参考に改良を施したイコライザーです。

HI: -25dB~+15dB MID: -25dB~+15dB LO: -25dB~+15dB

ROUND-Q

様々なジャンルの曲に対して馴染みやすいように作られたオール・ラウンド・タイプのEQです。

HI: -28dB~+12dB MID: -28dB~+12dB LO: -28dB~+12dB

BOOST

ブースターとしての用途に効果的です。中高域の変化幅を広めに確保して、迫力のあるサウンドを引き出します。

HI: -20dB~+18dB MID: -12dB~+12dB LO: -20dB~+18dB

SLAMMING

中域の音を積極的に加工するため、通常よりHIは低め、MIDは高めの帯域に設定されています。LOには+方向へは緩やかに、一方向へは急激に変化する特殊なカーブを採用していますので、メリハリの効いたイコライジングが可能です。

HI: -30dB~+6dB MID: -30dB~+6dB LO: -60dB~+6dB

ISOLATOR

台形のカーブ曲線を持ち、各帯域がカバーする音色に対して均等に作用します。音を完全にカットすることができるインソレーターとしても機能し、特定パートの音色を瞬時にカット可能です。

HI: -∞dB~+9dB MID: -∞dB~+9dB LO: -∞dB~+9dB

HYPED

緩やかなカーブを持ったEQです。曲全体の雰囲気作りや音色調整にも効果的です。

HI: -∞dB~+9dB MID: -∞dB~+9dB LO: -∞dB~+9dB

4. KAOSS PADを使う

エフェクトをかけるチャンネルを選択する

各ミキサー・チャンネルのKAOSSボタンを押して点灯させると、そのミキサー・チャンネルの音声にKAOSS PADによるエフェクトをかけることができます。

SOLOエフェクト

KAOSSボタンを長押し(約2秒間)すると、他のオンしているエフェクトがすべてバイパス(解除)され、押したKAOSSボタンが点滅し、そのPGMのみにエフェクトをかけることができます。

タッチ・パッドを操作する

タッチ・パッドを指でこすったり、タッピング(軽く叩く)して、音色を操作します。

ホールド

HOLDボタンを押すと、HOLDインジケータが点灯し、タッチ・パッドから手を離しても、離す直前のポジションのエフェクトの音色を保持します。

エフェクト・プログラムを選ぶ

PROGRAM/VALUEノブを回して、00～99のエフェクト・プログラムを選択します。エフェクトのかかり具合はDRY/WETノブで調節します。

FX RELEASEのオン、オフ

1. PROGRAM MEMORY 2ボタンを押しながら、TAPキーを押します。
2. “r.On”(FX RELEASEオン)、“r.Of”(FX RELEASEオフ)をPROGRAM/BPMノブで選択します。
3. 再度PROGRAM MEMORY 2ボタンを押しながらTAPキーを押すと、プログラム選択に戻ります。または、設定の操作を3秒間行わない場合も、プログラム選択の状態に戻ります。

FX RELEASEとは

タッチ・パッドから手を離れた瞬間(エフェクトをオフにした瞬間)から、BPMテンポに同期したディレイ・エフェクトがかかり始め、徐々に減衰していきます。

PROGRAM MEMORY ボタンを使う

PROGRAM MEMORY ボタンは、それぞれのボタンにエフェクト・プログラム、HOLDボタンのオン/オフ状態、HOLD時のタッチ・パッドのポジションを記憶することができます。

各PROGRAM MEMORY ボタンを押すと、それらの状態を瞬時に呼び出すことができます。

PROGRAM MEMORY ボタンに記憶するには

1. あらかじめ、記憶するプログラムを選んでおきます。ホールド状態で記憶する場合は、HOLDボタンを押して、ホールドをオンにします。タッチ・パッドの位置は、最後に触れたポジションが記録されます。
2. 記録したいPROGRAM MEMORY ボタンを押しながら、HOLDボタンを押すと、押しているPROGRAM MEMORY ボタンに記録されます。

BPMを設定する

1. TAPボタンを押すと、現在設定しているBPM値がディスプレイに表示されます。
2. 曲のテンポに合わせてTAPボタンを数回押すと、そのBPM値を検出しテンポにあったBPM値が設定されます。
3. BPM値を表示しているときに、PROGRAM/BPMノブを回すと、BPM値を変更することができます。
4. TAPボタンを長押しすると、BPM設定からプログラム選択に戻ります。または、設定の操作を5秒間行わない場合も、プログラム選択の状態に戻ります。

工場出荷時の状態に戻す方法

工場出荷状態に戻すには、EQ SELECTORノブを「KM-Q」に設定した状態で、TAPボタンとPROGRAM MEMORY 1 ボタンを押しながら電源をオンにすると、KAOSS PADのすべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

5. 付録

故障かなと思う前に

電源が入らない

- 電源コードがコンセントに接続されていますか？
- リア・パネルの電源スイッチがオンになっていますか？

音が出ない

- 本機および接続している機器の電源がオンになっていますか？
- チャンネル・フェーダーまたは、MASTER LEVELノブが下がっていませんか？
- チャンネルの音量レベルが下がっていませんか？
- TRIMノブが適正なレベルまで上がっていますか？
- 各入力端子に接続後、各ミキサー・チャンネルに正しく入力しましたか？
- INPUT SELECTスイッチで各ミキサー・チャンネルに入力してください。
- 音声が入力されているかを確認してください。

ノイズやひずみが多い

- TRIMノブの値が大きすぎると音がひずみ、小さすぎるとノイズが多くなります。
- TRIMノブは、最大レベルのときにレベル・メーターの赤が点灯しない範囲で、できるだけ大きい値になるように調整することによって適正值が得られます。赤で点灯するとクリップし、音声はひずみます。
- KA OSS PAD機能を使用していませんか？
- KA OSS PAD機能のエフェクトの中に、ひずみやノイズを加えるエフェクトがあります。エフェクトを使用しない状態で、ひずみやノイズがないことを確認してください。
- EQを使用するとひずむ場合、EQノブを上げてひずまないようにTRIMノブを下げてください。

クロスフェーダーの調整設定

クロスフェーダーの左右のあそび（音量調節の効かない範囲、不感帯）を調整することができます。

フェーダーの最端部で、音ギレが悪い場合やフェーダーのストロークを短く使いたいときなどに、調整を行ってください。

1. 電源を切ります。
2. EQ SELECTORノブを「KM-Q」に設定した状態で、PROGRAM MEMORY 3ボタンとTAPボタンを押しながら、電源をONします。

ディスプレイに「AdJ」と表示され、クロスフェーダー・アジャスト・モードに入ったことを示します。

3. クロスフェーダーを操作して、利き始めるポイントに設定したい箇所にフェーダーを合わせます。
左側にフェーダーを動かすとディスプレイに「L**」と表示します。右側にフェーダーを動かすと「r**」が表示します。それぞれ「**」は00～50の範囲で設定できます。

注意：最も端にしたときに「01」や「02」など「00」にならない場合もあります。

4. 左右それぞれの設定したいポイントでTAPボタンを押します。
ディスプレイに「L.」または「r.」のドットが点灯し、そのポイントに設定されます。（「-」と表示されているポイントでは設定できません。）

5. 左右それぞれのポイントを決定したら、HOLDボタンを押しながらPROGRAM MEMORY 3ボタンを押します。

ディスプレイに「SET」と点滅表示し、設定の記録が開始します。記録が終了するとディスプレイに「End」になります。

6. 設定を終了するには、電源を一旦切ってから、通常の方法で電源を入れ直してください。

注意：KA OSS PAD機能を工場出荷状態に初期化する操作を行うと、クロスフェーダーの調整設定も初期化されます。

仕様

電源: AC100V
消費電力: KM-202: 16W
KM-402: 19W
外形寸法: 288mm(W)×384mm(D)×107mm(H)
重量: 5.0kg

周波数特性: 20Hz～20kHz±1.0dB (Typ.) (LINE時)
S/N: 90dB @IHF-A (Typ.) (LINE時)

INPUT (LINE)

コネクタ: RCAジャック L/R
入カインピーダンス: 10k Ω
規定レベル: 0dBu

PHONO

コネクタ: RCAジャック L/R
入カインピーダンス: 40k Ω
RIAA準拠

MIC

コネクタ: ϕ 6.3mmモノラル・フォンジャック
入カインピーダンス: 50k Ω
規定レベル: -50dBu

MASTER OUTPUT L/R

コネクタ: RCAジャック L/R
規定レベル: 0dBu
負荷インピーダンス: 10k Ω 以上

BOOTH OUTPUT L/R

コネクタ: RCAジャック L/R
規定レベル: 0dBu
負荷インピーダンス: 10k Ω 以上

PHONES OUTPUT

コネクタ: ϕ 6.3mmステレオ・フォンジャック
出カインピーダンス: 32 Ω
最大レベル: 80mW+80mW @32 Ω

付属品

電源コード
取扱説明書

※ 製品の外觀および仕様は予告無く変更することがあります。

EFFECT PROGRAM LIST

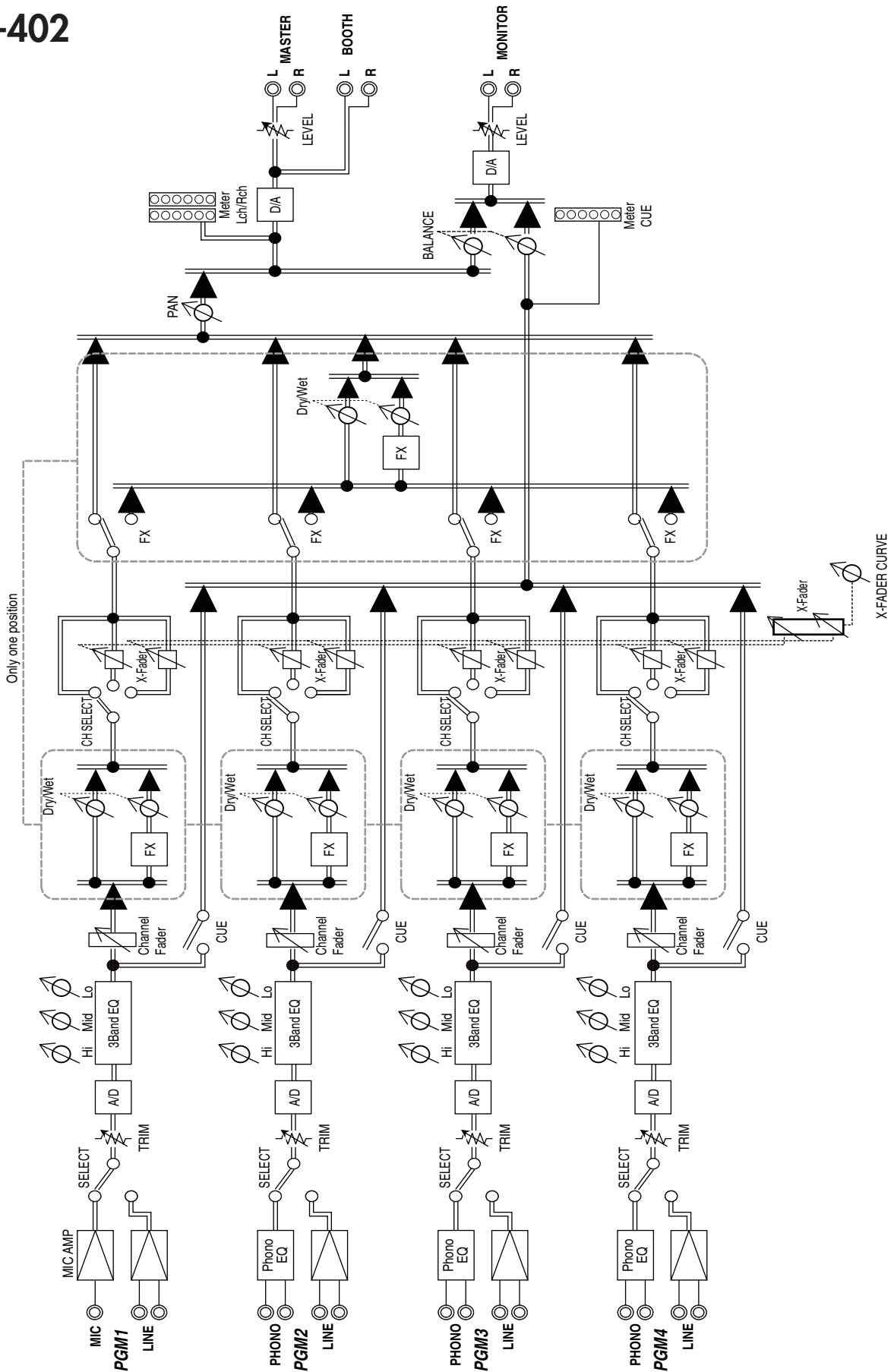
| Program Name | X AXIS ↔ | Y AXIS ↓ | Fx Release | BPM Sync |
|--------------------------|---------------------------|---|------------|----------|
| 00 LPF(Low Pass Filter) | Cutoff Frequency | Resonance | ○ | --- |
| 01 HPF(High Pass Filter) | Cutoff Frequency | Resonance | ○ | --- |
| 02 BPF+Band Pass Filter+ | Cutoff Frequency | Resonance | ○ | --- |
| 03 72dB/oct LPF | Cutoff Frequency | Resonance | ○ | --- |
| 04 LPF & Delay | Delay Time | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 05 HPF & Delay | Delay Time | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 06 BPF+ & Delay | Delay Time | BPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 07 LPF & Reverb | Reverb Depth | LPF Cutoff & Resonance | --- | --- |
| 08 HPF & Reverb | Reverb Depth | HPF Cutoff & Resonance | --- | --- |
| 09 BPF+&Reverb | Reverb Depth | BPF Cutoff & Resonance | --- | --- |
| 10 Morphing Filter | LPF - BPF+ - HPF | Cutoff & Resonance | ○ | --- |
| 11 Radio Isolator | Band Width | Noise Level | ○ | --- |
| 12 Radio Isolator | Mid+Low - Mid - Mid+Hi | Level & Drive | --- | --- |
| 13 Isolator | Low - Mid - Hi | Level & Drive | --- | --- |
| 14 Isolator & Distortion | Low - Mid - Hi | Distortion | ○ | --- |
| 15 Isolator & Delay | Low - Mid - Hi | Delay Depth | ○ | ♪ |
| 16 Jst(Manual Flanger) | Delay Time | Feedback | ○ | --- |
| 17 Manual Phaser | Frequency | Resonance | ○ | --- |
| 18 Talk Filter | 1st Formant | 2nd Formant | --- | ♪ |
| 19 DigiTalk | 1st Formant | 2nd Formant | ○ | --- |
| 20 Ring Mod & HPF | Ring Mod Frequency | HPF Cutoff & Resonance | ○ | --- |
| 21 Pitch Shifter & HPF | Pitch Shift | HPF Cutoff & Resonance | ○ | --- |
| 22 Mid Pitch Shifter | Pitch Shift | Mix Balance(Original - Mix - Pitch Shift) | ○ | --- |
| 23 Pitch Shifter & Delay | Pitch Shift | Delay Depth | --- | ♪ |
| 24 Broken Modulation | Frequency | Depth | ○ | --- |
| 25 Fizz Distortion | Low Boost - Low Cut | Distortion | ○ | --- |
| 26 Decimator | Sampling Frequency | Sampling Bit | --- | --- |
| 27 Decimator & HPF | Decimator Frequency & Bit | HPF Cutoff & Resonance | --- | --- |
| 28 LFO LPF | LFO Speed | Resonance | ○ | --- |
| 29 LFO HPF | LFO Speed | Resonance | ○ | --- |
| 30 LFO BPF+ | LFO Speed | Resonance | ○ | --- |
| 31 LFO HPF+ & Delay | Delay Time | HPF Level, Delay Depth | --- | ♪ |
| 32 Infinite LFO HPF | LFO Speed | Resonance | ○ | --- |
| 33 Random LFO LPF | LFO Speed | LFO Depth | ○ | --- |
| 34 Random LFO HPF+ | LFO Speed | LFO Depth | ○ | --- |
| 35 Flanger | LFO Speed | Feedback | ○ | --- |
| 36 Deep Flanger | LFO Speed | Feedback | ○ | ♪ |
| 37 Mid Flanger | LFO Speed | Feedback | ○ | ♪ |
| 38 Flanger & LPF | Flanger LFO Speed | LPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 39 Flanger & Delay | Delay Time | Flanger Feedback, Delay Depth | --- | ♪ |
| 40 Infinite LFO Flanger | LFO Speed | Feedback | ○ | ♪ |
| 41 Phaser | LFO Speed | Resonance | ○ | ♪ |
| 42 Mid Phaser | LFO Speed | Resonance | ○ | ♪ |
| 43 Phaser & Delay | Delay Time | Phaser Resonance, Delay Depth | --- | ♪ |
| 44 Step Phaser | Frequency | Resonance | ○ | ♪ |
| 45 Auto Pan | LFO Speed | Mono Mix - Auto Pan | --- | ♪ |
| 46 Mid Auto Pan | LFO Speed | LFO Depth | --- | ♪ |
| 47 Slicer | LFO Speed | LFO Depth | --- | ♪ |
| 48 Mid Slicer | LFO Speed | LFO Depth | --- | ♪ |
| 49 Slicer & LPF | Slicer LFO Speed | LPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |

| Program Name | X AXIS ↔ | Y AXIS ↓ | Fx Release | BPM Sync |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------|----------|
| 50 Slicer & HPF | Slicer LFO Speed | HPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 51 Delay | Delay Time | Delay Depth | --- | --- |
| 52 Smooth Delay | Delay Time | Delay Depth | --- | --- |
| 53 Low Cut Delay | Delay Time | Delay Depth | --- | ♪ |
| 54 Ping Pong Delay | Delay Time | Delay Depth | --- | ♪ |
| 55 LCR Delay | Delay Time | Delay Depth | --- | ♪ |
| 56 3 band Delay | Low - Mid - Hi | Delay Depth | --- | ♪ |
| 57 Multi Tap Delay | Delay Time | Delay Depth | --- | --- |
| 58 BPF Time Slide | Delay Time | BPF Frequency | --- | ♪ |
| 59 Reverse Delay & HPF | Delay Time | HPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 60 Reverse Delay Mix | Delay Time | Delay Depth | --- | ♪ |
| 61 Gate Reverb & Delay | Delay Time | Delay Depth, Reverb Depth | --- | ♪ |
| 62 Delay & Reverb | Delay Time | Delay Depth, Reverb Depth | --- | ♪ |
| 63 Tape Echo | Delay Time | Delay Depth | --- | ♪ |
| 64 Dub Echo | Delay Time | Delay Tone | --- | ♪ |
| 65 Feedback Echo | Delay Time | Delay Depth | --- | --- |
| 66 Reverb | Reverb Time | Reverb Depth | --- | --- |
| 67 Reverb 2 | Reverb Time | Reverb Depth | --- | --- |
| 68 Spring Reverb | Reverb Time | Reverb Depth | --- | --- |
| 69 Gate Reverb | Gate Time | Reverb Depth | --- | --- |
| 70 Reverse Gate Reverb | Gate Time | Reverb Depth | --- | --- |
| 71 3 band Gate Reverb | Low - Mid - Hi | Reverb Depth | --- | --- |
| 72 Grain Shifter | Cycle Speed | Length | ○ | ♪ |
| 73 Mid Grain Shifter | Cycle Speed | Length | ○ | ♪ |
| 74 Mid Grain Shifter+ | Cycle Speed | Length | ○ | ♪ |
| 75 Grain&HPF | Grain Cycle Speed & Length | HPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 76 Grain&HPF+ | Grain Speed | HPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 77 Looper Forward/Reverse | Looper Beat | Reverse - Forward(Cross Fade) | ○ | ♪ |
| 78 Vinyl Looper | Looper Beat | Reverse - Forward (Pitch) | ○ | ♪ |
| 79 Rewind Spin Looper | Looper Beat | Rewind Spin - Forward | ○ | ♪ |
| 80 Looper & LPF | Looper Beat | LPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 81 Looper & HPF | Looper Beat | HPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 82 Looper & Flanger | Looper Beat | Flanger Feedback | ○ | ♪ |
| 83 Looper & Pitch Shifter | Looper Beat | Pitch Shift | ○ | ♪ |
| 84 Looper & Decimator | Looper Beat | Decimator Frequency & Bit | ○ | ♪ |
| 85 Looper & Isolator & HPF | Looper Beat | HPF Cutoff & Resonance | ○ | ♪ |
| 86 Looper & Isolator+ | Looper Beat | Low - Mid - Hi | ○ | ♪ |
| 87 Bass_looper | Looper Beat | Reverse - Forward(Cross Fade) | ○ | ♪ |
| 88 Looper & Oscillator | Looper Beat | Oscillator Pitch, etc. | ○ | ♪ |
| 89 Looper & Noise | Looper Beat | Noise Level, etc. | ○ | ♪ |
| 90 Unison Saw Bass | Synth Pitch | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 91 Unison Squ Bass | Synth Pitch | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 92 Unison Saw Synth | Synth Pitch | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 93 Unison Squ Synth | Synth Pitch | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 94 Metallic Synth | Synth Pitch, BPF Cutoff etc... | LFO Speed etc... | --- | ♪ |
| 95 Siren | LFO Speed etc... | LFO Intensity | --- | ♪ |
| 96 LFO Sin | Synth Pitch, LFO Speed | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 97 LFO Squ | Synth Pitch, LFO Speed | HPF Cutoff & Resonance | --- | ♪ |
| 98 Noise | Noise Tone | Noise Level | --- | ♪ |
| 99 Synth & Looper | Synth Tone | Looper Off - Looper On (Beat) | --- | ♪ |

BLOCK DIAGRAM

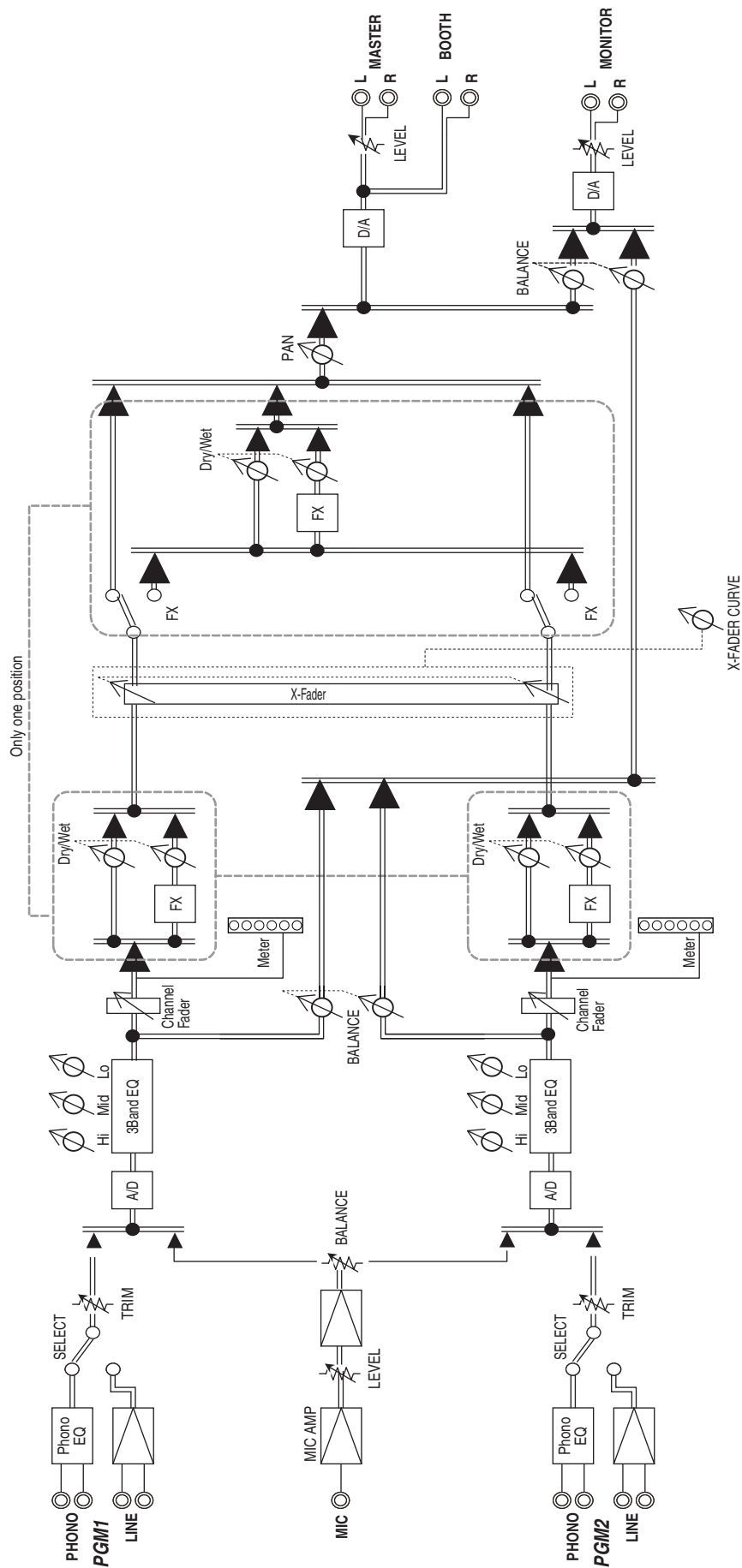
SCHÉMA TECHNIQUE

KM-402



BLOCKDIAGRAMM

KM-202



アフターサービス

■保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめサービス・センターへお問い合わせください。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときは、サービス・センターへお問い合わせください。

■修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です
This Product is only suitable for sale in Japan.
Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

URL: <http://www.korg.co.jp/>

お客様相談窓口 TEL 03 (3799) 9086

- サービス・センター: 〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1
明正大井5号営業所コルグ物流センター内 TEL 03 (3799) 9085

IMPORTANT NOTICE TO CONSUMERS

This product has been manufactured according to strict specifications and voltage requirements that are applicable in the country in which it is intended that this product should be used. If you have purchased this product via the internet, through mail order, and/or via a telephone sale, you must verify that this product is intended to be used in the country in which you reside.

WARNING: Use of this product in any country other than that for which it is intended could be dangerous and could invalidate the manufacturer's or distributor's warranty. Please also retain your receipt as proof of purchase otherwise your product may be disqualified from the manufacturer's or distributor's warranty.

REMARQUE IMPORTANTE POUR LES CLIENTS

Ce produit a été fabriqué suivant des spécifications sévères et des besoins en tension applicables dans le pays où ce produit doit être utilisé. Si vous avez acheté ce produit via l'internet, par vente par correspondance ou/et vente par téléphone, vous devez vérifier que ce produit est bien utilisable dans le pays où vous résidez.

ATTENTION: L'utilisation de ce produit dans un pays autre que celui pour lequel il a été conçu peut être dangereuse et annulera la garantie du fabricant ou du distributeur. Conservez bien votre récépissé qui est la preuve de votre achat, faute de quoi votre produit ne risque de ne plus être couvert par la garantie du fabricant ou du distributeur.

WICHTIGER HINWEIS FÜR KUNDEN

Dieses Produkt wurde unter strenger Beachtung von Spezifikationen und Spannungsanforderungen hergestellt, die im Bestimmungsland gelten. Wenn Sie dieses Produkt über das Internet, per Postversand und/oder mit telefonischer Bestellung gekauft haben, müssen Sie bestätigen, dass dieses Produkt für Ihr Wohngebiet ausgelegt ist.

WARNUNG: Verwendung dieses Produkts in einem anderen Land als dem, für das es bestimmt ist, verwendet wird, kann gefährlich sein und die Garantie des Herstellers oder Importeurs hinfällig lassen werden. Bitte bewahren Sie diese Quittung als Kaufbeleg auf, da andernfalls das Produkt von der Garantie des Herstellers oder Importeurs ausgeschlossen werden kann.